

こまき市民文化財団情報誌

みんなで育てよう、こまきの文化

こまぶん

Summer

夏

2019.7



ワクワクの夏、
見つけた。

特集

こまぶんフェスタ

インタビュー

東儀秀樹

インタビュー

立川談春

モバイル・トリエンナーレ

文化財団が、
協力を得て今年も開催！
ワークショップから
よるコンサートまで、
触れて・学んで・楽しめる
祭典です。

文化の花
ぶん
スタ

入場
無料

こまき
令和夏まつり
日時 | 8/24(土)
15:30~22:00
場所 | 小牧駅前ラビオ周辺
※お問合せは小牧市役所
シティプロモーション課
TEL 0568-76-1173まで。
前日開催

sun 10:30-18:30
市市民会館

小牧市・小牧市教育委員会 特別協力:名古屋芸術大学



出店
情報

くりの木ランチ
卵で有名な株式会社クレストが
運営するカフェ。シュウクリームや
プリンなどスイーツが盛りだくさん！

社会福祉法人あいち清光会サンプレンド
ベーカリー&カフェ「シリウス」
菓子パン、惣菜パンなど。

カーサ・デ・ムジカ
Casa de Musica colab with café libera
名古屋芸術大学の学生が企画するカフェ。
アートなカフェにご期待ください。

～演奏ことはじめ～by.中部フィル

時間 | ①12:00~13:00 ②15:30~16:00
場所 | 市民会館大ホールロビー
出演 | 中部フィルハーモニー交響楽団楽団員
中部フィルハーモニー交響楽団楽団員による
プチ導入レッスンとミニコンサート！

[申込方法]
8/18(日)までに
こまき市民文化財団
までお申込みください

7/2(火)
9:30~
整理券
配布

大ホールコンサート
整理券配布案内

[配布場所]

- こまき市民文化財団オンラインチケットサービス
<http://www.komaki-bunka.or.jp>
- 市民会館
- 東部市民センター
- 味噌市民センター
- 北里市民センター
- まなび創造館

[電話予約]

こまき市民文化財団 TEL (0568)71-9700
7/2(火)13:00から電話予約を承ります。
※7/3(水)以降 9:00~17:00(月曜休館)
※電話予約後10日以内に整理券の
受け取りをお願いします。
10日を過ぎると予約は取り消されます。

※7/3(水)以降 9:00~17:00(まなび創造館は9:30から、市民会館は20:00まで)
※月曜日は、各施設入場整理券のお取扱いを承っておりません。 ※施設により開館時間、休業日が異なります。

大ホールコンサート

要
整理券

会場 | 市民会館(全席自由)

0~3歳児のための音楽会

時間 | 11:00~11:30(開場 10:30)
ソプラノ/川越未晴 チェロ/石本卓斗 ピアノ/犬飼裕哉
舞台上で音楽を聴く“ゆるふわ”な時間。

ライトクラシックコンサート

時間 | 14:00~15:00(開場 13:45)
司会/高橋はちゃこ
打楽器/野々垣行恵、奥田育子、平原朋美 他
楽しく、気軽にクラシック！

スペシャルコンサート

時間 | 17:00~18:30(開場 16:30)
出演 | 名古屋芸術大学ウインドシンフォニー
指揮 | 遠藤宏幸(名古屋芸術大学准教授)
ゲスト | サックス/堀江裕介 ドラム/阿野次男
曲目 | 星条旗よ永遠なれ:J.P.スーザ
シーガル:真島俊夫
宝島:和泉宏隆 他
ゴージャスなブラスオーケストラと
サックス・ドラムのスタープレイヤーによる夢の共演！

参加無料イベント

申込
不要

ライブハウス“KOMABUN”

時間 | 10:30~18:30 場所 | 市民館 講堂
多彩なジャンルの音楽を、飲んだり食べたりしながらゆったり聴けるライブハウス。

Live schedule

- | | |
|---|--|
| 10:30~11:15 ゴスペル
兼松弘子
with Voice of Vision &
NUAゴスペルサークル | 12:00~13:00 ポップ・クラシック
國領さおり(サックス)
丸尾祐嗣(ピアノ)
鈴木豊大(パーカッション) |
| 13:45~14:45 アイリッシュ
Dai Komatsu & Tetsuya Yamamoto
小松大(フィドル、ヴィオラ)
山本哲也(ギター) | 15:30~16:30 ダンス&ヴォーカル
名古屋芸術大学
iVY(アイビー) |



こまき市民

名古屋芸術大学の特別

気軽に参加できる

プロのアーティストに

いろいろな形で「音楽」に

魅力満載の



咲かせよう、

こま
フェ

2019.8.25

会場／小牧

主催：一般財団法人こまき市民文化財団 共催：



一般財団法人
こまき市民文化財団

1

こまぶん ウクレレ工房

①おとなワークショップ

～大人のためのウクレレづくり! (全2回)～

日 時 | 8/18(日)・25(日) 10:00～12:00
場 所 | 市公民館 創作室 対 象 | 高校生以上
定 員 | 10名 受講料 | なし
教材費 | 4,500円 ※申し込みから10日以内にお支払いください
持ち物 | はさみ・カッターナイフ・針金ハンガー・ウェス(布切れ)3枚・
定規(30cm程度のもの)・筆記用具

ウクレレキットを組み立て、自分好みに色付けします。
ワークショップの最後では簡単な演奏のレクチャー付き!

2

こまぶん ウクレレ工房

②親子ワークショップ

～親子でかんたんウクレレづくり! (全2回)～

日 時 | 8/18(日)・25(日) 14:00～16:00
場 所 | 市公民館 創作室
対 象 | 年中以上の子どもとその保護者
定 員 | 10組(20名) 受講料 | なし
教材費 | 4,500円 ※申し込みから10日以内にお支払いください
持ち物 | 水入れ・パレット・ふで・カッターナイフ・雑巾・はさみ・
針金ハンガー・ウェス(布切れ)2枚・
定規(30cm程度のもの)・筆記用具・
下書き用の絵(型紙を申込者に配布します)

無地のウクレレに好きな絵を自由に描きます。
ワークショップの最後では簡単な演奏のレクチャー付きです!

3

子どもリズム隊

打楽器を演奏してみよう!

時 間 | 11:00～15:00(受付 10:30)
場 所 | 市公民館 料理教室・学習室3の2
対 象 | 小学生 定 員 | 15名
教材費 | 200円(昼食付/おにぎり・味噌汁程度) ※当日徴収します
持ち物 | 水分補給用の飲料水
※参加者は大ホールにて14時より開催のライトクラシックコンサートに出演します。

みんなで演奏する楽しさやリズム楽器の仕組みを学びながら体験します。
最後にはコンサートで、プロのアーティストと一緒に演奏します!

4

バックステージツアー

～ホールの裏側探検～

時 間 | ①12:30～(受付 12:00)
②15:30～(受付 15:00) 各20分程度
集合場所 | 市民会館ホールロビー
対 象 | 小学生以上(小学校低学年は保護者同伴)
定 員 | 各回10組 参加料 | なし 持ち物 | なし

劇場の設備を紹介するバックステージツアーを実施します。
通常は見ることのない調光室などを見学したり、
舞台上でのリハーサル模様を見学できます。

巨大な橋を組み立て、1000人以上で踊ります!

同時開催

納涼
大盆踊り

時間 | 18:30～20:30
主催 | 小牧市民踊協会
場所 | 市民会館 駐車場
※雨天中止

夏の夜は市民会館でBAR&SWEETS!

こまぶんバル

時間 | 11:00～20:00
場所 | 市民会館前
(せせらぎ広場)
※お酒は15:00からの
提供になります。

ワークショップ
申込方法

●受付期間：7/6(土)～7/27(土) 9:00～17:00

[申込方法]

参加ワークショップ名、郵便番号、住所、氏名、
電話番号を、電話・メール・ホームページ
または直接財団窓口(市民会館内)まで。
mail: koza@komaki-bunka.or.jp



※定員になり次第締め切ります。

QRコードから
各ワークショップの
申込みができます

託児サービス

こまぶんフェスタにお越しのお客様は
託児サービスをご利用いただけます。

●時間/10:30～18:30
●料金/1時間500円
●対象/1歳以上の未就学児
●定員/10名(先着順)

雅楽師の東儀秀樹、ヴァイオリニストの古澤巖、
アコーディオニストのcobaという、
世界的に評価の高い3人の音楽家が結成した
スーパーユニット「TFC55」が
小牧にやって来ます。
それぞれのジャンルで頂点を極めた
3人の創り出す音楽とは？
そして今後の活動は？
東儀秀樹さんにお話をうかがいました。

Interview

東儀秀樹

(TFC55)

異色トリオが奏でる、 どこにもない音楽

ツアーで共演して
意気投合
お互いの音楽性を
楽しめる3人

TFC55の結成は2014年。3人がそろって55歳になる年でした。古澤さんとは20年来的付き合いで、前々からステージで共演していたんです。で、あるツアーの時にcobaさんにゲストとして入ってもらって、3人で音を重ねたのですが、それが気持ちよくてね。3人でユニットを組んでみよう、ということになりました。

このトリオの面白さは、それぞれがまったく別のバックボーンを持ちながら自分のルーツにとらわれず、お互いの音楽性を楽しめるところにあると思います。僕は1300年の歴史を持つ雅楽師の家系に生まれ、雅楽の演奏を活動の中心としてきましたが、雅楽の魅力をわかりやすく伝えるためにポップスやジャズの要素を積極的に取り入れているし、ギターを弾くこともあります。

古澤さんはクラシックの世界で揺るぎない評価と実績を持つ人です。特にバッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 シャコンヌ」などの演奏は素晴らしく、僕は古澤さんの演奏を聴いて以来、ほかの「シャコンヌ」が聴けなくなってしまった。クラシックのヴァイオリン奏者としてそれほどの実力を持ちながら、僕のような異分野の音楽家ともごく自然にわかり合うことができる人です。

cobaさんもそう。アコーディオンというヨーロッパの伝統楽器を現地の誰よりもうまく弾いて、国際コンクールで優勝してしまう人です。その一方で、ビョークの世界ツアーに参加したり、映画や舞台の劇伴を手がけたり、とにかく活動の幅が広い。アコーディオンという楽器の従来のイメージを覆し、世界にその可能性を示した最初の人ですから。

三者三様に歴史や伝統を背負いながら、しかしそれらに縛られないで活動できているのは、自分たちのルーツへの揺るぎない愛情と、それぞれが独立したソロミュージシャンとして大きな仕事を経験してきたという自信があるからです。

古くて新しい木管楽器 箏(ひちりき)の 魅力とは？

僕はもともとロックとギターが好きで音楽の道を志したのですが、高校生の頃に母のすすめで東儀家が奈良時代から継承してきた箏(ひちりき)や笙(しょう)の演奏を本格的に学び始めました。雅楽で使われる楽器は、1400年前に大陸から伝わって以来、現在までまったく形状が変わっていないです。箏はダブルリードの木管楽器で、オーボエやクラリネットのルーツと言われています。だから古澤さんのヴァイオリンやcobaさんのアコーディオンの音色と

もマッチするんです。

TFC55の公演で大切にしているのは、「新鮮なライブ感」です。古澤さんとcobaさんはとにかく練習熱心。本番直前まで練習しています。対する僕は昔から練習が大嫌いで、一度箏を触ったら次のステージまでまったく触らないこともある(笑)。



でも、3人がみな堅実に構築されたステージを目指したら、見ているお客さんもおつまらないでしょう。2人のおかげで僕は好きに遊ばせてもらうことができるし、突拍子もないアイデアや無茶を提案できる。出演者である自分が一番ドキドキしたいんです。

終わりではなくて、 ひと区切り

これからの東儀秀樹について

TFC55としては、今回が一応ラストツアーとなります。僕は数字にこだわるタイプではないけれど、3人が55歳の時に始まったプロジェクトですから、60歳になる今年でひと区切りつけておくことが3人の今後の活動のためにいいと思っています。

今後の活動はまだ何も決まっていまません。というより、あえて決めないようにしています。遠くに掲げた目標に真っ直ぐ向かって行くよりも、インスピレーションるものを探してキョロキョロしている方が自分らしいですから。「東儀秀樹はいつもお香を焚いて瞑想してそう」なんて言われますが、とんでもない(笑)。いつだって「どうにかなるよ」と楽天的に構えています。

小牧のみなさんにも 僕らの音楽を 楽しんでほしい

小牧はこれまで何度か公演で訪れたことがありますが、長い歴史を持つ街ということで親しみを感じています。古いものと新しいもの、東洋的なものと西洋的なものが混じり合う僕たちの音楽を聴いて、「日本ってやっぱり面白いな」と改めて感じてくださいね。

TFC55 PROFILE



東儀秀樹 (写真中央)

高校卒業後、宮内庁楽部に入部。1996年に退職後、雅楽と現代音楽を融合した独自の音楽活動を開始する。箏や笙などの雅楽器に留まらないマルチ楽器奏者、幅広い趣味人として知られるほか、近年は愛息との日々や子育て論を綴った書籍も人気。TFC55の公演では、センターで進行役も担当している。

古澤巖 (写真左)

3歳半でヴァイオリンを始め、1982年に桐朋学園大学を首席で卒業。レナード・バーンスタインに師事したのち、東京都交響楽団のソリスト&コンサートマスターを務める。多ジャンルのアーティストとの共演のほか、合気道や乗馬、サーフィンなど、さまざまなスポーツをこなすことでも知られている。

coba (写真右)

18歳でイタリアに留学。1980年に東洋人として初めてアコーディオンの国際コンクールで優勝し、世界的に注目を集める。さまざまなアーティストとのレコーディングに参加しているほか、作曲家としても映画や舞台、CMなどの音楽を手がけている。金髪とボーダー柄のシャツがトレードマーク。

2019.11.2(土)

東儀秀樹×古澤巖×coba
コンサートツアー2019
TFC55 Limited Edition

場所／小牧市市民会館 大ホール
時間／17:00 開演(16:30 開場)
料金／一般 4,500円
U25(25歳以下) 1,000円

〈アートフレンド会員〉
一般 4,000円
U25(25歳以下) 800円

小牧公演への
意気込みを
語っていただき
ました！



お客さんの前に出ないと、
わからないことばかり。

profile

1966年東京生まれ。17歳で立川談志入門。1988年に二つ目、1997年に真打に昇進する。古典落語の名手として注目を浴びる一方、談志との師弟関係や下積み時代のエピソードを綴ったエッセイ『赤めだか』がベストセラーに。近年は俳優としても評価され、ドラマ『下町ロケット』や映画『あいあい傘』『七つの会議』などに出演している。

interview

立川談春

江戸落語の担い手、**立川談春師匠**の独演会が**小牧市市民会館**で開催されます。

幅広いジャンルで活躍されている師匠にとって、**落語とは？ 稽古とは？ 立川談志とは？**

存分に語っていただきました。

20年ぶりの小牧。

大きく変わった落語界

——師匠は20年前の1999年9月に小牧で独演会をされています。憶えていらっしゃいますか？

「憶えてますよ。ある落語家さんの代演だったんです。前の日の晩に電話があつて、『急病で中止にしようと思うけど、兄(アニ)さんが代わりに出てくれるなら世話人に紹介する』と言われて。でもそれ以来、20年も呼ばれないんだからねえ」

——(笑)。なんせ師匠は大変売れっ子ですから。

「小牧って、落語の冬の時代からずっと『駒来落語会』などの会を続けてくれてますよね。ありがたいですよ。僕が入門した頃なんて、落語家は東西合わせても300人いなかったんです。それが現在は900人近くいる。お相撲さんより多いんだから。隔世の感がありますね」

——エッセイ『赤めだか』を書かれたり、ドラマ『下町ロケット』で役者さんを演じられたり、活動の場がどんどん広がっていますが、すべてはやはり落語に還元されるのでしょうか？

「そりゃそうですよ。ただしそれは結果論であつて、芸の幅を広げようと思ひしてやっているわけじゃない。『だったらなぜやるの?』と聞かれると、これはもう縁ですね。落語家は、自分の師匠が生きているうちは人

との縁って感じないんですよ。師匠の価値観をそのまま受け入れて、師匠の背中だけを見て生きていけばいいんだから。でも死んじゃったら自立せざるを得ない。人の縁はそういう時に生まれるんです。今日の僕は、いろんな縁がもたらす偶然と幸運の賜物。本気でそう思いますよ」

好きな落語を

仕事にしたから、

ずっと考えるのは当たり前

——師匠は、オンとオフの切り替えをどのようににされているのですか？

「オンとオフ？ そんなものありませんよ。一番好きなことを仕事にしたわけですから、24時間ずっと落語のことを考えてないと。道楽の成れの果てだもん。だいたいね、表現を仕事にしている人間ってのは、実社会では役に立たないんだから。（記者とカメラマンに）あなたたちだってそうですよ」

——はい、そう思います（汗）。

「24時間って『さすがに寝ている時は考えてないだろ？』と突っ込まれるかもしれないけれど、ある大先輩の落語家さんに言わせると、この仕事で熟睡できるやつはダメなんだって。長嶋（茂雄）さんは夜中に突然ガバツと布団から出て素振りをして、『わかった！』と叫んでまた布団にもぐったとか。ジャンボ尾崎さんは『これぞ最高のグリップだ！』と言って、手の形を忘れないようにガムテープでぐるぐる巻きに固定したとか。ずーっと考

えてなきゃダメだと。そういう生き方って、普通に考えたら辛いだろうなと思うけれど、お二人にとっては楽しいんですよ。うちの家元（立川談志）もそういう人だったから、それはよく理解できる」

——「ご自身にも『わかった！』と思う瞬間はありますか？



写真 鈴木心

出してみても、あっさり拒絶されるし。そうなるって『ウケるってなんだ？』という自問自答と妄想が始まる（笑）。芸人は忖度の塊だから。ただ、比べるのはおこがましいけれども長嶋さんやジャンボさん、あるいは家元のように、仕事のことはいつも考えてますよ。緊張状態で出せるのが本当の実力だと思ってるから、その状態になれる修行をずっと続けています」

談志との師弟関係は究極の非合理

——師匠にとって立川談志とは？

「落語家の弟子、それも立川談志の弟子になるなんてのは究極の非合理ですね。それを合理的に説明するなんて無理な話です。たとえ説明したとしても、わかってもらうのは難しいと思う。『あの立川談志の弟子なんだから、わかるように説明する義務があるんじゃないの？』と言われるかもしれない。でも、できないものはできないよ。確かに言えるのは、一生ついて行こうと決めた人に少しでも近づこうとする気持ちが愛で、そのために稽古を続けている。それだけです」

——超多忙な師匠ですが、稽古はいつされているのですか？

「僕にとつての稽古は、お客さんの前でしゃべること。そう言うって『お前は力ネ取って稽古してんのかい？』と驚かれますけど、家でやる稽古はいわばテニスの壁打ちです。さっきも言ったように、自分がウケると思ってもウケないことなんてたくさんある。お客さんの前に出ないと、わからないことばかりですよ。それは何年キャリアがあっても同じ」

——20年ぶりの小牧での独演会ということで、メッセージをお願いします。

「昔から応援いただいている方はもちろん、『（下町口ケツトの）殿村部長が来るらしいぜ』という新しいお客さんまで、気楽に遊びに来てください。9月に小牧でお会いしましょう」

2019年9月14日（土）

駒来落語会

立川談春独演会

場所／小牧市市民会館大ホール
時間／14時開演（13時30分開場）

料金／一般 3,500円 U25 1,000円

アートフレンド会員

一般 3,000円 U25 800円

小牧公演への
意気込みを
語っていただき
ました！





今津 景《ロングタームメモリー》2019 「六本木クロッシング2019展：つないでみる」森美術館、東京、Courtesy of ANOMALY



石場文子《2と3のあいだ(わたしの机とその周辺)》2017

モバイル・トリエンナーレ

- ・会期：2019年9月6日(金)～8日(日)【3日間】
- ・会場：小牧市市民会館・公民館
- ・主催：あいちトリエンナーレ実行委員会
小牧市・小牧市教育委員会
一般財団法人 こまき市民文化財団(小牧市会場)
- ・入場料：無料

「モバイル・トリエンナーレ」はその名の通り(モバイル＝移動性の)、主な会場となる名古屋市及び豊田市以外の県内4市町を巡回しながら週末に開催する「移動型」の展覧会です。「あいちトリエンナーレ」本展出品作とは異なる作品を展示し、本展のエッセンスを紹介します。

2019年は小牧市のほか、設楽町(8月23日～25日)、津島市(8月30日～9月1日)、東海市(9月20日～23日)が「モバイル・トリエンナーレ」の会場となります。



バンクロック・スラップ
《SEBARKAN CINTA (Spread the Love)》2017

あいちトリエンナーレ2019

愛知県で2010年から3年ごとに開催されている国内最大規模の国際芸術祭。4回目となる今回は、国内外から80組以上のアーティストを迎え、国際現代美術展のほか、映像プログラム、パフォーマンス、音楽プログラムなどさまざまな表現を横断する最先端の芸術作品を紹介します。

テーマ／情の時代 Taming Y/Our Passion

- ・芸術監督／津田大介(ジャーナリスト／メディア・アクティビスト)
- ・会期／2019年8月1日(木)～10月14日(月・祝)【75日間】
- ・会場／愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか(四間道・円頓寺)、豊田市(豊田市美術館及び豊田市駅周辺)
- ・主催／あいちトリエンナーレ実行委員会

※チケット情報などの詳細は「あいちトリエンナーレ2019」公式Webサイト(<http://aichitriennale.jp/>)をご覧ください。

こまきに 「現代アート」がやってくる！

8月から開催される「あいちトリエンナーレ2019」において、「モバイル・トリエンナーレ」の会場に小牧市が初めて選ばれました。

情の時代

AYAY

あいち トリエンナーレ 2019

AICHI TRIENNALE 2019:
Taming Y/Our Passion

「れきしるこまき」で 生粋の“歴女”を発見！

4月にオープンしたばかりの「れきしるこまき（小牧山城史跡情報館）」に文化財コーディネーターとして在籍されている菅沼加那さんは、大学で日本近世史を学び、学芸員資格を取得。東京での博物館勤務を経て地元の長野へ戻り、松本城管理事務所の研究専門員として7年間、企画展や講座を担当されてきました。

近世城郭のルーツである石垣を見ることで、小牧・長久手の戦いの時代に整備された土塁が生々しく残る小牧山にも「お墓に近いロマンを感じる」そう、新しい刺激を求めて「れきしるこまき」への移籍を決意されました。

—— 松本から移り住んで3カ月。小牧の街の印象はいかがですか。

「フレンドリーな方が多くて、平地だからどこへでも自転車で行ける気軽さもあって、とても暮らしやすいです。小牧に来て最初に感じたのは、松本と夕日の見え方が全然違うこと。山々に囲まれた標高590mの盆地に建つ松本城から見ると、標高86mの小牧山から見ると、長い時間黄昏時を楽しめます。何と言っても信長が見ていた夕日ですから、日々いろいろな妄想が浮かびます（笑）」

「お墓が好きと言うと驚かれるんですけど、昔の人のように暮らして一生を終えていったかを、お墓を通して想像するのが好きなんです」

れきしるこまき
文化財コーディネーター
すがぬまかな
菅沼加那さん



NEWS!

第60回 小牧市民美術展が開催

10月27日(日)から11月4日(月・振休)までの9日間、小牧市まなび創造館にて恒例の小牧市民美術展が開催されます。記念すべき60回目を迎える同展は、日本画、洋画、彫塑・工芸、書道、写真の各分野から小牧市民等による力作を募集し展示します。最終日の11月4日には優秀作品の表彰も予定されています。長い歴史を持つ同展を、今年もお楽しみください。

2019.10.27(日)～11.4(月・振休)【9日間】

第60回 小牧市民美術展

展示会場／小牧市まなび創造館5階アリーナ
表彰式／小牧市まなび創造館5階あさひホール
主催／小牧市、小牧市教育委員会
企画・運営／一般財団法人こまき市民文化財団
小牧市民美術展常任委員会

こまじん！

銅版画家
小川 友美さん

アルバイトをした経験から、自分でも教室をやりたいと思うようになりました。作家活動とは別に、身ひとつでできる仕事をもちたかったです。

教室には大きな銅版画プレス機が置かれ、子どもたちのいない時には小川さんのアトリエに。夜遅くまで個展やワークショップの準備に追われることもあるそうです。また、現在の生活拠点である美濃加茂市ではアートプロジェクト『さそがわ日和』の中心メンバーとして、さまざまなイベントの企画やアートディレクションを担当されるなど、忙な日々を送られています。

「どの活動が一番大事なの？」とよく聞かれるんですけど、私の中に順位づけはありません。教室での子どもへの発想や『さそがわ日和』での面白い人との出会いなど、すべてが創作の刺激になっています。そして小牧は、アートや文化に興味を持つ子どもたちにとって良い環境が整っている街です。これからもそういう子どもたちの個性を伸ばすお手伝いをしたいと思っています」

関わることの
すべてが
創作の刺激に。

銅版画家の小川友美さんは、こま小牧で生まれ育ち、名古屋芸術大学卒業後の1998年に「おがわこども絵画・造形教室」を開講。現在は珈琲焙煎家のご主人が店を構える岐阜県美濃加茂市でご主人の仕事を手伝いながら、週に2日ご実家横に併設された教室で、子どもたちに絵画や造形を教えておられます。



銅版作品／つぼみ



おがわこども絵画・造形教室
〒485-0071 愛知県小牧市弥生町31
mail:omomi422@gmail.com

文化の
守り人小牧市美術協会 会長
伊藤 隆さん

40年以上の歴史を持つ小牧市美術協会。現会長の伊藤隆さんは、高校時代にほぼ独学で西洋画を描き始め、長く会社員生活と作家活動を両立されてきました。リタイア後の現在は5つの絵画教室で絵を教えながら、個人として7回の日展入選を果たしています。取材当日は、ご自宅のアトリエで横幅150cmを超えるチェコの風景画を制作中でした。

「大きな絵を描くことは、オーケストラの指揮に似ています。全体の調和のために注意

を払わなければいけないし、そのための体力も必要です。しかし、絵に決めごとはありません。画題、画材、キャンパスのサイズ、すべて自分の感覚やモチベーションに合わせて決めればいいんです。また、年齢もまったく関係ありません。定年を過ぎても描き始めて、メキメキと腕を上げる人が協会にはたくさんいますから」

100名近い会員が所属する美術協会では、各種展覧会に向けての個々の創作のほか、普及活動にも積極的です。毎年

夏休みには小学生・中学生を対象に『夏休み子ども文化体験教室』を開催しています。今後の目標をうかがうと、こんな答えが返ってきました。

「昨年は貼り絵を教えたのですが、楽しくなってくると子どもたちの目の輝きが変わります。日本人は世界で最も美術館に足を運ぶと言われている、年齢を問わずアートへの関心が高い。そういった人たちに、絵を描く楽しさを伝えるのが協会の使命だと思っています」

ご興味のある方は、まずは10月27日から9日間開かれる小牧市民美術展に足を運んでみてはいかがでしょうか。



8月4日(日)

BIRTH

ファミリーコンサート 音楽

会場: 味岡市民センター
マリンバ・ドラムなど
打楽器を使ったコンサート!
思いっきりリズムを楽しもう!
時間/14:00 開演 (13:30 開場) 好評発売中
料金 一般/1,000円 U25(25歳以下)/500円

0歳から楽しめる!



8月10日(土)

愛知県芸術劇場ファミリープログラム 演劇

Loo(ルー)

会場: 市民会館
客席が舞台セットの一部になっていて
間近で見る独特の世界観をお楽しみください。
時間/①11:00 開演 (10:50 開場)
②14:00 開演 (13:50 開場) 好評発売中
料金 一般/1,500円 U25(25歳以下)/1,000円
中学生以下/500円



8月18日(日)

サントペテルブルグ

国立舞台サーカス 2019 サーカス

会場: 市民会館
時間/①12:30 開演 (12:00 開場)
②15:00 開演 (14:30 開場) 好評発売中
料金 一般/2,800円 U25(25歳以下)/2,600円



8月25日(日)

こまぶんフェスタ

会場: 市民会館 公民館
小牧のアツい夏を舞台に、様々な楽器や音楽、
アートを感じるプログラムが満載!
時間/10:30~18:30
⇒特集1~2ページ



8月31日(土)

石田ひかり 松風理咲

「A列車に乗っていこう」 演劇

会場: 市民会館
いつまでもたおやかな女優・石田ひかりと
新世代女優の松風理咲の二人芝居。
この夏、いまだ観たことがない
幻想的な舞台が誕生する。
時間/13:30 開演 (13:00 開場) 好評発売中
料金 一般/3,500円 U25(25歳以下)/1,000円



9月14日(土)

駒来落語会

立川談春独演会 伝統芸能

会場: 市民会館
時間/14:00 開演 (13:30 開場) 好評発売中
料金 一般/3,500円 U25(25歳以下)/1,000円
⇒特集5~6ページ



9月21日(土)

小牧山新能 伝統芸能

会場: 小牧山史跡公園 (雨天時 小牧市市民会館)
〈オープニングセレモニー〉17:00~
〈新能開演〉18:00~

9月28日(土)

せせらぎナイトコンサート 音楽

会場: 市民会館前せせらぎ広場 料金 無料

10月6日(日)

吹奏楽フェスティバル 音楽

会場: 市民会館 企画・運営: 吹奏楽連盟

10月27日(日)~11月4日(月・振休)

第60回小牧市民美術展 美術

会場: まなび創造館 5階 アリーナ

10月27日(日)~11月4日(月・振休)

第42回小牧市文芸祭 文芸

会場: まなび創造館 4階 市民ギャラリー 主催: 文芸協会

11月2日(土)

東儀秀樹×古澤巖×coba

コンサートツアー2019 コラボ

TFC55 Limited Edition

会場: 市民会館
時間/17:00 開演 (16:30 開場)
発売日/7月26日(金)
料金 一般/4,500円 U25(25歳以下)/1,000円
⇒特集3~4ページ



11月23日(土・祝)

BS-TBS日本名曲アルバム of Jスコーラズが贈る

『聴きたい! 思い出の昭和歌謡
名曲コンサート』 コーラス

会場: 東部市民センター
時間/15:00 開演 (14:30 開場)
発売予定日/8月30日(金)
料金 一般/2,500円 U25(25歳以下)/1,000円



12月14日(土)

中部フィルハーモニー交響楽団 クラシック

小牧特別演奏会「こまき第九 2019」

会場: 市民会館
時間/15:00 開演 (14:15 開場)
発売予定日/9月13日(金)
料金 プラチナ席/5,300円 S席/4,300円
A席/3,300円 B席/1,800円
学生席/1,000円(公演当日取扱い)



2020 1月

1月19日(日)

駒来落語会(落語・講談) 伝統芸能

桂宮治 神田松之丞 二人会

会場: 北里市民センター
時間/15:00 開演 (14:30 開場)
発売予定日/10月25日(金)
料金 一般/3,000円 U25(25歳以下)/1,000円



ロビーコンサート

毎月第1日曜日(10月・1月は第2日曜日)開催

ふれあい音楽広場

会場: 味岡市民センター ロビー 時間/12:15~12:50
出演: ボルタメント小牧

8月3日・10月12日 開催

市民会館ロビーコンサート

会場: 小牧市公民館 展示ロビー 時間/12:10~13:00

メナード美術館

2019年 7月6日(土)~9月23日(月・祝)

所蔵企画展 double silhouette

ダブルシルエットー光と影が語ったもの

※8/5・19に一部展示替えを行います



パヴァロー・クレール
《デモニーッシュな
マリオンネット》1929年
メナード美術館
初公開コレクション

2019年 10月4日(金)~12月22日(日)

メナード美術館 コレクション名作展2019

※11/5に一部展示替えを行います

メナード美術館 情報

【開館時間】10:00~17:00(最終入館は16:30まで)
【休館日】月曜日(祝休日の場合は直後の平日)、9/24(火)~10/3(木)
【入館料】一般 900円 高大生 600円 小中生 300円
【お問い合わせ】メナード美術館 【電話】0568-75-5787

※内容は変更となることがあります。[詳しい情報は、こまき市民文化財団HPに順次掲載します]



この春からこまき市民文化財団に
新たに4人のメンバーが加わりました!!

生まれも育ちも経歴もみんないろいろですが、
市民の皆様を楽しんでいただけるよう個性的な
メンバーで頑張ります! もし市民会館やれきし
るこまきで見かけたときには、気軽に声を掛けて
くださいね♡



こまき市民文化財団

チケット購入方法

窓口でのチケットのお求め

下記の5か所に販売窓口がございます。※施設により開館時間、休業日が異なります。

- ・市民会館
[受付時間] 9:00～20:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市小牧2丁目107
- ・東部市民センター
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市篠岡2丁目23
- ・味噌市民センター
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市久保新町60
- ・北里市民センター
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜休館 [住所] 小牧市下小針中島2丁目130
- ・まなび創造館 ※月曜日はチケットのお取り扱いはありません。
[受付時間] 9:30～17:00 ※第3火曜休館 [住所] 小牧市小牧3丁目555

インターネット

- ・財団ホームページから予約・購入 <http://www.komaki-bunka.or.jp>
チケットの引き取りは市内各販売窓口、セブン-イレブンから選べます。

電話予約

- ・こまき市民文化財団 TEL:0568-71-9700
[受付時間] 9:00～17:00 ※月曜日定休 [住所] 〒485-0041 小牧市小牧2丁目107

チケットぴあ

- ・チケットぴあ店頭購入
コンビニエンスストア(セブン-イレブン)
ぴあのお店で直接ご購入いただけます。(別途発券手数料がかかります)
- ・チケットぴあ電話予約
TEL:0570-02-9999 [受付時間] 24時間受付(Pコードが必要です)
※お支払い、お受け取り方法などの詳細については、チケットぴあに直接お問い合わせください。
なお、チケットぴあでの購入の場合、アートフレンド会員割引等はご利用いただけません。

〈こまき市民文化財団友の会〉アートフレンド小牧

(特典)チケットの先行予約販売&チケット料金の割引

財団主催事業(市民会館、各市民センター、まなび創造館で実施する舞台公演事業等)のチケットが対象となります。※一部を除く

チケット料金	1,000円以下	1,000円超～2,000円未満	2,000円以上
割引額	200円引き	300円引き	500円引き

その他(特典)

- ・ご自宅に情報誌やイベントのご案内をお送りします。

会員の種類と年会費

プレミアム会員	スタンダード会員	メール会員
年会費 1,500円 先行予約・割引購入は 2枚まで	年会費 1,000円 先行予約・割引購入は 1枚まで	年会費 無料 先行予約・割引購入なし 最新の情報をお届けします

会員期間は入会日から1年後の月末までとなります。
例)2019年4月15日の入会の場合、2020年4月30日まで

申し込み方法

窓口にて 市民会館、各市民センター、まなび創造館の各窓口で、入会申込書と年会費を添えてお申込みいただく、その場で会員証を発行いたします。

Webから 小まき市民文化財団ホームページから、ご希望の会員を選択し、必要事項を入力してご登録ください。お支払方法は、窓口・クレジットカード決済、セブン-イレブン決済、銀行振込決済からお選びいただけます。入金確認後、会員証、規約などをご登録のご住所にお届けします。

チケット予約・購入は財団HPから！

- いつでも買える
- 支払方法を選べる
- スマホ・パソコンで買える
- 席を自分で選べる

一般財団法人こまき市民文化財団

Facebook @bunka.komaki

HP: www.komaki-bunka.or.jp こまき市民文化財団
TEL:0568-71-9700 MAIL:info@komaki-bunka.or.jp
事務局(小牧市市民会館内) 〒485-0041 愛知県小牧市小牧2丁目107
営業時間:8:30～17:15
休業日:月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

交通のご案内

- 電車…名鉄小牧線「小牧駅」下車徒歩約10分
- お車…名神高速道路 小牧ICから国道41号・国道155号で約2.5km